

海洋科学技術に係る当面の重点事項を受けた取組

参考資料 3-2
平成28年10月13日(木)
科学技術・学術審議会
海洋開発分科会(第49回)

第5期科学技術基本計画、総合海洋政策本部参与会議意見書、G7伊勢志摩サミット首脳宣言等、海洋科学技術に対する国内外の状況を踏まえ、海洋国家たる我が国における海洋の位置付け等も考慮しつつ、関係省庁や研究機関、産業界と連携を図りながら、以下の点について来年度に向けて重点的に取り組む

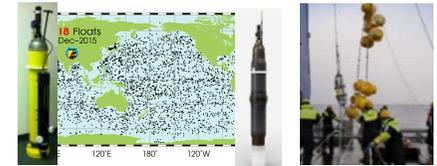
経済・社会的課題の解決に向けた取組の強化

科学的根拠に基づく海洋の管理等に資する取組

G7伊勢志摩サミット首脳宣言を踏まえ、科学的根拠に基づく海洋の管理、保全及び持続可能な利用に資する取組を推進



- 新型漂流フロート開発・展開
- 基盤的観測網や係留観測の拡充 等

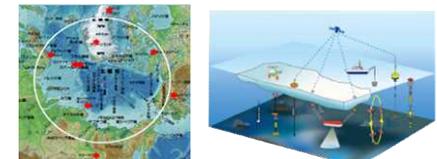


北極域研究の戦略的な推進

北極研究戦略委員会の検討を基に、観測技術の高度化等を含めた北極域研究の戦略的な推進



- 北極域研究推進プロジェクト(ArCS)
- 先進的な北極域観測技術の開発 等



国民の安全・安心の確保に資する研究開発

国民の安全・安心の確保に資する研究開発や、東日本大震災を経て蓄積された知見をより良い復興に生かすための研究開発等を推進

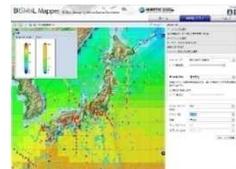


- 連続リアルタイム海底地殻変動観測技術の開発・展開
- 海底活断層の高精度広域調査
- 東北マリンサイエンス拠点形成事業 等



オープンイノベーションの推進

海洋に関する多種多様なデータを活用し、分野を超えた連携も含め新たな経済的・社会的価値を創造する研究開発を推進、海洋分野におけるイノベーションを加速



- 海洋観測ビッグデータを利用した新たな価値創造
- オープンイノベーション創出に向けた、分野を超えた多様な技術・知見・人材が糾合・統合しやすい環境の整備 等



海洋科学技術に係る基盤的施策の推進

長期的な観測や先端技術といった活動の基盤となる、基礎研究、基盤技術の開発、人材育成等の強化やリテラシーの向上について着実に取り組みを実施



- 無人探査機(ROV)システムのフルデプス化に向けた技術開発
- 研究船等による観測研究の推進 等



海洋分野におけるイノベーションの推進

国内外の状況を踏まえ、海洋国家たる我が国における海洋の位置付け等も考慮しつつ、経済・社会的課題の解決やオープンイノベーションの推進に向けた取組(下図の緑色矢印)を強化していく必要があるのではないか。

海洋の特徴

- 我が国の四方を囲む、持続的発展の基盤
 - 深海底から大気まで様々な現象が絡み合うため、現象の距離的・時間的スケールが大きい
 - 陸上とは異なる特殊な環境
- 我が国が抱える様々な課題の解決に貢献
 - データ科学・計算科学の活用、多数分野・多数機関の連携
 - 先端技術の先導・波及

